

牧師、バイカー、鮫職人として。。。シェア from LA 第14話「公式看板完成」エミリオの看板 Part 4

エミリオをはじめ有志の方々によって日本語看板が仕上がってから数カ月、いよいよ英語の正規看板を作ることになり再びエミリオに電話した。今回はプラスチックにステッカーではなくゴツイ鉄製でカスタムペイントで塗り上げる大掛かりなものだが、彼は二つ返事で「鉄板にペイントして看板作る？おお、任しとけ！」と来た。デザインが決まっていないことを伝えると、「ダチがデザインするから心配するな。すぐにサンプルを送る」と言う。

送って来たデザインを見て驚いた。在米と言うこともあり今回は“日本人臭さ”を伏せてカリフォルニアらしくしてほしいと伝えていたのだが、So Cal と大きく書かれた筆記体に旭日と十字架、思わずイザヤ書41章の「東から起こる英雄」を想起した。英語で洋風でありながらしっかりと現代アートの様なライジングサン (Rising Sun)の日の丸と十字架が入っており、「これだ！」と思った。それを見て世を照らすイエスの光、

「起きよ！ 光を放て！ あなたの光が来て、主の栄光があなたの上に輝いているからだ。」

イザヤ書60章1節

を思い出した。 デザインを担当したデザイナー、ブラ製実物大のモックアップを作った人、鉄板の切断と組み立て、溶接をした連中も、カスタムペイントを施した人たちも一切金を受け取らなかった。私は払おうとして何度もオファーしたが答えはNO だった。ただ切り出した新品の鋼材費のみ100ドル程度で払っただけ。彼らは皆 アリッサの友人(11話参照)なのだろう。

元はと言えば私が彼女のためにたった150ドルの寄付をしたことから始まった。あの時の“捧げもの”を神は10倍以上にして返してくださった。今はただ、神と神が用意してくださった人々に感謝するのみ。この看板を見るたびに奮い立つ。“東から起こる英雄”のように宣教の道を今日も進んで行きたい。ここまでいつも善くしてくださった神を信じながら。

つづく。。。

9-30-2019

